授業改善推進プラン（教科　家庭科）

昨年度の授業改善推進プランの成果と課題		
１年	２年	３年
・授業参加者は全員作品を完成させることができた。生徒の実技授業の準備、片付けがスムーズになった。 ・遅れを取り戻す計画を立てて実行する力の育成が、より必要。	・体験的な活動や生活に密着した内容を取り上げることができた。 ・社会の問題や未来の問題に対して、主体的に考えさせることが課題。	・自分で計画して調整する能力を身に付けさせることができた。 ・失敗を体験させて、改善方法を考えさせた。生徒によって程度の差はあるが、経験を通して考える力を習得させることができた。

学年毎の課題分析	学　年	生徒の実態	学力調査、授業アンケート等を受けての具体的な授業改善策	
			第1回	第2回
	１　年	・発展的な思考ができる生徒がいるが、基本的指示が通らないこともある。 ・忘れ物が多い。	・応用的な内容を取り扱いながら、基礎は丁寧に確認していく。 ・一人一人の作業進度に応じて個に応じた指導を心掛ける。	・扱う内容を簡単にし、分かりやすくする。 ・作業は今後も教えあえるような席順にする。 ・基礎を丁寧に確認していくことを継続する。
	２　年	・発言は少ないが、意欲的に取り組んでいる。 ・調理の経験は少ないが、基本的な操作はできる。	・時間の目安を設定し、予定の時間に沿えるようにする。 ・体験的な活動を多く取り入れ実生活で生かせるようにする。	・知識を定着させるため、毎回行った前時の復習を、今後も継続する。 ・授業のまとめでも、重要な内容を改めて説明する。
	３　年	・作業進度が遅れがちな傾向がある。 ・作業自体は、つまづくところが少ない。	・手が止まっている生徒に困っている点を確認する。 ・時間を意識できるよう、細かく時間を区切っていく。	・扱った内容が保育育児だったこともあり、説明内容が理解しにくかった。体験的な学習を増やして理解しやすくなるよう工夫する。 ・扱う内容を簡単にし、分かりやすくする。

今年度の授業改善推進プランの成果と課題		
１年	２年	３年
・一人一人の作業進度に応じた指導が出来た。 ・発展的な内容の割合を減らす。	・毎時間振り返りを行うことで、前時の内容を踏まえて本時の学習が出来るようになった。	・より実感出来る学習内容にする必要がある。